

ドイツバイエルン州 3 都市で日本の保護司活動を紹介する

講演会結果のご報告

今回は、保護司アジ研協力会の会員から本年 3 月末から 4 月にかけて海外で行った講演活動についての報告がありましたのでご紹介します。

この方は、北海道旭川地区保護司会理事及び旭川ドイツ交流協会会長の山下敦規様です。

山下敦規様が行った海外での活動は、ドイツバイエルン州のレーゲンスブルグ市、ミュンヘン市及びニュルンベルグ市の 3 都市において、日本の保護司活動を紹介する講演活動です。

その実施した結果及び聴講者に行ったアンケートの調査結果をまとめた報告書その他、講演会で使用したパワーポイントスライドのプレゼン資料、ドイツ語と日本語の講演原稿、独日協会会報(2025 年 3 月/4 月)をご提供いただきましたので、添付させていただきます。

なお、報告書及び各資料については、紙数が多いため郵送の方へは省略させていただきます。もしご必要のある方は、事務局までご連絡下さい。対応させていただきます。

講演した都市(ミュンヘン、ニュルンベルグ、レーゲンスブルグ)



DJG-Webseite

独日協会ウェブサイト

アジ研公式 X アカウムの開始について

アジ研では本年 5 月 9 日から、広報活動の一層の充実を図るため、公式 X アカウムの取得され、アジ研が所管する施策や取組、イベント等に関する情報を一般に公開されることとなりましたのでお知らせします。

今後は、このアジ研公式 X アカウムで発信された情報で協力会会員の皆様に関係する事案につきましては、別添えの「UNAFEI 公式 X アカウム運用ポリシー」に基づき転載してお知らせいたします。

今回は、以下の 2 点につきまして、アジ研公式 X アカウムのスクリーンショットにてお知らせいたします。

●1 点目

5 月 20 日(火)ウィーンで開催された第 34 会期国連犯罪防止刑事司法員会のサイドイベントで、保護司アジ研協力会の今井事務局長が参加し、山内アジ研所長が、日本の保護司制度を紹介し、地域社会の関与の重要性を強調する講演の中で、自身の実際の保護司活動を発表しました。



保護司アジ研協力会 News Letter

●2 点目

5月22日(木)アジ研において、第187回国際研修の日本文化(習字)体験カリキュラムで、保護司アジ研協力会会員6名がお手伝いしました。その様子を、アジ研公式 X アカウントで紹介されました。



※アジ研公式 X アカウントは、以下の URL,QR コードで、スマホから確認できます。

URL : <https://x.com/unafeiPNI>

QR コード

